

聴講歓迎・参加無料

令和5年度第2回シンビオ社会研究会講演会

「未来を拓く自らが主体のアクティブラーニング」

初秋とは名ばかりの残暑がたいそう厳しい日が続きますが、皆様方にはおかれましてはご壮健でお過ごしのことと存じます。

当会では先端エネルギー科学への一般社会や若い世代の関心を高めるため ZE アクティブラーニング活動の一環としてのパブリックアウトリーチ活動に取り組んでおりますが、今回は八尾理事の企画により「未来を拓く自らが主体のアクティブラーニング」をキーワードに下記のとおり、「日本の資本市場改革と海外投資家 - 日本悲観論を戒める」と「生物エネルギーシステムの実現に向けた課題」の2件の講演により、令和5年度第2回シンビオ講演会の開催を企画しましたのでご案内します。遠隔オンライン参加も可能な ZOOM によるハイブリッド講演会としましたので、多数の皆様のご参加をお待ちしています。とくに若い方々、学生諸君の参加を期待しています。

参加を希望される方は、準備の都合上、10月4日(水)までに下の連絡票で当会事務局 (symbio.research.office@gmail.com)までご連絡ください。

敬具

記

日時：令和5年10月12日(木) 15:00～17:30 (開場 14:45)

会場：宇治市五ヶ庄 京都大学宇治キャンパス本館会議室(N571E)及び ZOOM による

交通：JR 奈良線黄檗駅または京阪宇治線黄檗駅下車 地図は [こちら](#)

主催：NPO 法人シンビオ社会研究会

共催：京都大学エネルギー理工学研究所ゼロエミッション (Ze) 研究拠点

協賛：日本保全学会西日本支部

〜〜〜プログラム〜〜〜

★開会の辞 15:00～15:05 シンビオ社会研究会 会長 吉川 榮和 理事

★講演1：15:05-16:05 (講演 50分 質疑 10分) 司会：八尾 健 理事

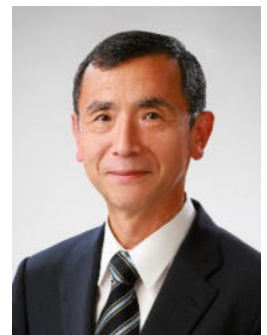
講演題目：日本の資本市場改革と海外投資家 - 日本悲観論を戒める

講師：京都大学名誉教授、(財)国際通貨研究所 客員研究員

森 純一 (もり じゅんいち) 氏

略歴：1973年一橋大学経済学部卒業。東京銀行(現三菱UFJ銀行)にて、東京・独・米にて、国際資本市場業務、大手企業取引、調査業務に従事。2000年国際通貨研究所、経済調査部長。2004年、京都大学国際交流センター教授、2009年より京都大学国際交流推進機構長を務め、文部科学省の留学生推進計画である「グローバル30」などの全学国際プロジェクトの責任者となる。2016年より2年間ベトナム国立ダナン経済大学で客員教授として現地で学生指導を行い、2018年に京都橘大学教授、2020年より京都橘大学監事。著書に「外国為替の知識」(共著、日本経済新聞社)「国際金融読本」(共著、東洋経済新報社)など。

講演概要：バブル崩壊以来、「日本の失われた20年(あるいは30年)」とも言われ、国内では日本経済に対する悲観論が充満してきた。講師は永年に亘り、国際金融に携わり、また研究を行ってきたが、どうしてもこの



ような悲観論には組みすることができなかった。実際に、この間も日本経済を評価する海外投資家は着実に日本買いを進めてきている。そして本年は、日本経済にとって更にエポックメイキングな年になると思われる。東京証券取引所が主導する株式市場改革が進められ、政府の「貯蓄から投資へ」による NISA 口座の抜本的な拡充が、企業経営の変革を促し、国内および海外投資家の日本経済再評価が進むと期待するからである。国内外の経済統計を見ながら、市場改革や海外投資家の役割、日本経済の行方を考えてみたい。

—————休憩 10分—————

★講演 2：16:15～17:15（講演 50 分 質疑 10 分） 司会：森下 和功 理事

講演題目：生物エネルギーシステムの実現に向けた課題

講師：京都大学エネルギー理工学研究所長・教授 森井 孝（もりい たかし）氏

略歴：1959 年兵庫県たつの市生まれ。1982 年京都大学工学部合成化学科卒業、同大学院修士課程、博士課程修了、1988 年コロンビア大学化学科博士研究員、1990 年カリフォルニア工科大学博士研究員、1992 京都工芸繊維大学繊維学部助手、1994 年京都大学化学研究所助手、2002 年エネルギー理工学研究所助手、2002 年同講師、2005 年より京都大学エネルギー理工学研究所教授。



講演概要：バイオエネルギーとは、現在は、バイオマスを利用したエネルギー利用システムと考えられている。光合成において、太陽光による電子とホールの生成、即ち「明反応」は、太陽電池によって既に人工的に実現されている。一方、光合成でいまだに人工的に再現されていないのは、「明反応」で得られたエネルギーを化学ポテンシャルへと変換し、それによって化学結合を生成する「暗反応」である。生物はそのために代謝経路を用いている。我々は、この生物のエネルギー利用原理に着目した新しいバイオエネルギー分野を開拓してきた。本講演では人工光合成を実現する上での課題として人工代謝経路について議論する。

★閉会の挨拶 17:15～17:20 副会長 辻倉 米藏 理事

◆◆シンビオ社会研究会第 2 回講演会の参加回答票◆◆

氏名()

所属()

メールアドレス()

電話番号()

シンビオ講演会に参加を申し込みます

どちらかを選択ください (会場参加 Web 参加)

★出欠の連絡先：シンビオ社会研究会事務局まで (symbio.reserch.office@gmail.com)

★申し込みの期限 令和 5 年 10 月 4 日(水)までをお願いいたします。

★参加を申し込まれた方には 10 月 10 日までには発表される先生方の資料、また Web 参加の接続方法を連絡いたします。連絡のないときは事務局までご一報ください。



こちらからも申し込みます

特定非営利活動法人 シンビオ社会研究会

〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学エネルギー理工学研究所内

TEL/FAX 0774-38-3482

<http://sym-bio.jpn.org/>

E-Mail: symbio.reserch.office@gmail.com
